

第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

【奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直しの関連指標】

指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当
市民ふれあい交流事業 (ミニ直売所)(箇所)			6	6	10	農林課
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	3	3	地産地消の市民の意識・必要度はますます増しており、安全安心の見える関係づくりや運輸エネルギーの削減にもつながる。これまでの取組で浸透してきているようであり、交流事業がますます活発になることに期待が持てる。			
単年度 達成率	総合評価					
3	B					
指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当
農業地域と市街地との 交流参加者数(人)			92	61	100	都祁行政 センター 地域振興課
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
3	3	3	農業体験は、食育の観点からも重要な取組である。地産地消の促進にも寄与し、若者の農村回帰にもつながり、今後も継続して地域活性化も含めた積極的な取組に期待する。			
単年度 達成率	総合評価					
4	A					
指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当
奈良県産学校給食食材 地産地消率(%)			38.03	33.84	50	保健給食課
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	3	3	米穀を奈良市産に切り替えることができたことが大きな成果であったと思う。食の安全安心の関心は益々増加しており、特に学校給食への地産地消食材採用は積極的に進めるべきである。学校給食で地元食材に子どもたちがふれることはとても有意義な取組だと思うので是非積極的な展開をお願いしたい。			
単年度 達成率	総合評価					
4	B					

【実施事業】

1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体が茶摘み体験、こんにゃく作り体験、餅つき大会等を行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（田植え、ブルーベリー採り、稲刈り、収穫祭）を行っています。

2 市民ふれあい交流事業

【ミニ直売所】

地場産の新鮮で安心・安全な農産物の消費を促進するとともに、生産者と消費者のふれあい交流を推進するため、平成28年度は、鳥見、富雄、赤膚、鶴舞、済美南及び白毫寺の6箇所においてミニ直売所を実施しました。



【彩マーケット】

平成23年度から毎年秋に市役所前広場にて開催している市場で、奈良市産の新鮮で安心・安全な野菜や加工品等を生産者自ら販売していただくことで、都市住民と農村住民のふれあい交流を図るとともに、地産地消の推進を図っています。



【ふれあい交流ファーム】

農村地域において農業従事者からの耕作指導を受けながら農作物を育てる実体験を通して市民間のふれあいを深める場を「ふれあい交流ファーム」として提供しています。



3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しています。平成28年度の奈良県産学校給食食材地産地消率は、33.84%となります。安全安心の観点からも地元産食材の需要が伸びる中、気象状況の影響等によりまとまった量の食材確保がさらに困難な状況となっています。